



【受講者の一言感想】編 紹介(当日回収分のみ)

今回のテーマ 「植物は環境変化をどのように  
感じ取り 適応しているのか」

講師：長浜バイオ大学 今村 綾 先生



- 聞きなれない単語がたくさん出てきたので、最初はとまどいしましたが、お話が進むにつれて、なんとなくわかってきました。例えば、ストレス=よくない状況だから、要するに水やりを忘れていた時、津波で海水をかぶった土地の再生を考える時、大雨で水が引かなくなった田畑の回復をどうするか、日陰で育つ植物の状況などについて細胞の中でどんな変化が起こってそうなるのかを追究し、解決していくことなのだということがわかりました。  
また、動物と植物の細胞の違いについては初耳でした。動かない植物が成長したり身を守っていたり、繁殖したり、枯れていたりする理由がわかってきて、とっても面白かったです。  
それと、動物と共通した活動をしていることもあり、生きているという点では同じなのだということも分りました。(女性 69 歳)
- 趣味で園芸を楽しんでいるので、今日のお話は、とっても納得できて、面白かったです。根腐れや給水不足等、よく失敗するのですが、植物の中で何が起きているのかがよくわかって、無知と怠慢で、物言えず動けない植物をハラメントしてたのだと反省しました。植物も生き残るために、葉緑体が動いたり、気孔を広げたり、活性酸素、カルシウム、アブシジン酸の活用、健気に頑張っているのだなと思いました。ためになる、おもしろいお話、本当にありがとうございました。(是非、もう一度続きのお話をお聞きしたいです)(女性 69 歳)
- 私は観葉植物にずいぶんひどい仕打ちをしていた(ストレスを与えていた)のだと深く反省しました。動けない植物が、細胞内で、必死に、健気に生命維持のため活動していることが、よくわかりました。(女性 65 歳)
- 動物だけではなく、植物も、生命を維持させる為、自然の中でいろんな作用や個体の中にある要素を駆使して生の為に努力しているという事がわかりました。(女性 68 歳)



- 大変解りやすい話で、特に、ストレス情報の伝達メカニズムは驚きの連続。植物の中で、すごい事が行われている事を知って、楽しくなりました。(男性 69 歳)



- 植物にも、人間と同様に、活性酸素などが出ることには驚きました。とてもデリケートだと知りました。今後は、植物にも、人と同じように優しく接していきたいと思いました。ありがとうございました。(女性 57 歳)

- 植物に対するストレスの説明、わかりやすかったです。特に、光の当て方によっては、ダメージを受けるとのこと。あまり植物を育てたことがないので、ただ当てればよいかと思ってました。明るく、一生懸命な先生でよかったです。(女性 70 歳)



- 高山植物、日常目にする植物など、身近な生物との関連について、少し理解が進みました。(男性 76 歳)

- 長年、家庭菜園を行っていることから、植物のストレスについて、見直すことが出来ました。特に、乾燥ストレス、高温ストレス、低温ストレス、強光ストレスについて考えながら、野菜作りをしたいと思います。(男性 74 歳)

- 毎月の様に、小さな庭先、植木鉢、草花に水をやったり、陽に当てたりすることを、特に、植物の性質、性格など考えずにしていました。本日、植物の特性の一端を詳しく知りましたので、特性に逆らわないように配慮しながら、植物を育てたいと改めて思いました。(男性 73 歳)

- 身近な植物にとってのストレス、今まで深く考えた事がなかったが、先生のとて丁寧な説明で、理解し易かった。植物にも、細胞内に活性酸素が出来るというのは面白い。植物って、子孫を残すために、こんなに高い能力を持っているのに驚いた。(女性 78 歳)

- 植物は、私たちの生活の近くにあるものなので、特に興味を持って聞かせてもらいました。貴重なお話しありがとうございます。(男性 63 歳)



- ・詳しく、且つ、分かりやすい説明で集中して学びました。・来年度に先生の講座がないのが残念。・小・中学校で理科の勉強を怠っていた事を後悔。・サ

イトカイニンの講義を是非。(男性 68 歳)

- 先生のお話を聞いて、今、育てている花の取り扱いに気をつけようと思いました。● 植物にストレスを与えないようにします。(女性 56 歳)
- 初めての今村先生の講義でしたが、はっきりと、聞きとりやすい、お声で、わかりやすかったです。身近でありながら、知らない事も多かった植物達も、いろいろなストレスと戦い、適応?! 対応?! して生き延びようとしているのだと知りました。これからは、食品になる植物、鑑賞する植物、自然の植物などに新たな興味を持って見る事が出来ると思います。資料の内容はわかりやすいのに、小ささと、字の薄さが残念でした。またの講義を楽しみにしています。ありがとうございました。楽しかったです。(女性 56 歳)

- 植物も様々なストレスの中で対応しているのが、たいへんわかりやすかったです。また、高度な内容を何とかわかりやすく説明しようとされていたのが良かったです。(男性 55 歳)



- 植物が育つ環境との相性の悪さ、良さをストレスという観点で整理する発想に学問の面白さを感じた。(男性 68 歳)

- 植物は、光と水を適当に受けて、ストレス少なくして独自に成長していることがよく分かりました。(男性 76 歳)

## BIO CAFE



◎ バイオ・カフェで聞きたい・話したい…一部、アラカルト風に紹介します。

◆食虫植物は、どうしてそういう戦略に出たのでしょうか?

◆漢方に使われる植物は、どんな環境ストレスから自分を守るために、そういう物質を作り出しているのでしょうか? 葛根湯、朝鮮人參 等

◆トマト等において、水を少なくしてストレスを与えることによって、甘い果物が出来るそうですが、この味の変化はどうして(どの部分で)起こるのでしょうか?



- ◆森林限界を越えた高山で、ハイマツ以外の草花が夏に開花しますが、冬期は氷雪の下に居る。冬期は冬眠状態ですか冬季は？ 植物も冬眠あるのですか？
- ◆植物に音楽を聴かせると良いと聞かれますが、細胞は、その時どうなるのでしょうか？ 又、植物に、好きな音楽、嫌な音楽などあるのでしょうか？
- ◆植物に光を当て続ける事は、ストレスになるのでしょうか？



♡バイオカフェでは、直接様々な質問やご意見が出て、楽しい雰囲気の中で展開していますが、内容は割愛しています。楽しいですよ。参加されたことのない方、ぜひ一度、気楽にご参加下さい。



## ■■ 「バイオの世界」担当から皆さまへ ■■

2018年度講座も第8回まで終了。受講生の皆さんの集中力は毎回非常に高く、今回の今村先生はじめ各先生方も非常にやりがいがあると感心しておられます。今回は、今年2人目の女性講師、今村先生が初登場。研究以外でもテニスの朝練も続けておられるなど活発で笑顔のステキな先生です。今回も研究を通して明らかになった植物ホルモンの情報伝達の仕組みや多様なストレスとそれに見事に対応・適応している健気な植物たちの姿を分かりやすく紹介して下さいました。家庭菜園をやっている方々も多く、育てるのに非常に参考になったと。人間の世界でも虐待のニュースが毎日流れている昨今ですが、植物と接するときもストレスを考えながらやさしく育てることが大切なのですね。さて、今日の第9回は、3人目の女性：渡邊倫子先生が初登場です。この冬、インフルエンザが全国で猛威を振るいましたがまさにタイムリー。本日は、身近な感染症についてその予防も含めてたっぷり語っていただけます。お聞き逃しのないように。そして、ご家庭でもまた話題にして頂けたらいいですね。そして次回は最終回、先生と同じく大阪大学の中島裕夫先生が今年もトリで登場。放射線の意味を今年も新たな視点でお届け



します。毎年、好評です。お楽しみに。

(事務局バイオ担当：鈴木信夫)